

一緒にします、いい人生



証券コード：4681

第50期 事業報告書 株主通信 Vol.49

2022年4月1日～2023年3月31日



th
Anniversary
since 1973

INVESTORS' REPORT
April 2022 - March 2023

RESORTTRUST

TO OUR SHAREHOLDERS

株主の皆様へ



CEO 伊藤 勝康



COO 伏見 有貴

ごあいさつ

株主の皆様におかれましては、当社グループへの日頃のご支援に心より御礼申し上げます。国内の社会経済活動がコロナ禍からの回復に向かう中、当社グループにおきましても、ホテル及びメディカルの会員権販売が好調に推移し、ホテルやレストランの稼働率も大幅に回復いたしました。余暇需要の確かな高まりを受けてグループ業績は急回復し、当期の経営成績は増収増益となりました。

おかげさまで当社グループはこのたび創立50周年を迎え、これを機に2024年3月期を初年度とする5ヵ年の中期経営計画「Sustainable Connect」を策定いたしました。当計画では、当社グループの多岐にわたる事業に、「サステナビリティ」という新たな軸を通し、あらゆるステークホルダーの方々の「ウェルビーイング」を追求します。この実践を通じて、より強固なグループブランドを実現するとともに、お客様の一生涯を通じてお付き合いをしていただけるグループになることを目指してまいります。

今後とも引き続き皆様のご支援ご鞭撻を賜りたく、心よりお願い申し上げます。

2023年6月

代表取締役会長 CEO（最高経営責任者）伊藤 勝康

代表取締役社長 COO（最高執行責任者）伏見 有貴

TOP INTERVIEW

トップインタビュー

新中期経営計画「Sustainable Connect」が始動。 創立50周年は過去最高の売上高達成を目指します。

会員権販売は過去最高の契約高を更新し、 施設稼働率も急回復。

—— 当期の事業環境と経営成績についてお聞かせください。

国内景況は、コロナ禍による行動制限などが無くなったものの、国際情勢の影響による円安の進行や資源価格、人件費や物価の上昇など、引き続き先行き不透明感が強い状況で推移しました。そのような中でも、当社グループにおいては、会員権事業では新

たに販売を開始した「サンクチュアリコート」シリーズの会員権販売が非常に好調だったほか、ホテルレストラン等事業においてもホテルの稼働率が急回復し、メディカル事業も引き続き好調でした。

こうした結果、当期の連結経営成績は、売上高が前期比7.6%増加し、営業利益は同41.2%の大幅増となりました。親会社株主に帰属する当期純利益は、ホテルトラスティ7施設の売却に伴う特別利益90億円が計上されたことなどによって、過去最高を更新

TOP INTERVIEW

トップインタビュー

いたしました。

会員権事業では、2022年3月に販売を開始した滞在型ディステーションホテルの第2弾「サンクチュアリコート琵琶湖」や同10月に発売した第3弾「サンクチュアリコート日光」の販売が好調に推移し、契約高は2期連続で過去最高を更新しました。不動産収益の計上タイミングの影響から、会計上のセグメント収益は減収減益となりましたが、繰延の影響を除く評価ベース*では、過去最高の契約高を背景に増収増益となっております。ホテルレストラン等事業では、コロナ禍の収束に伴い、リゾートホテルの宿泊需要がコロナ前を超えて好調に推移し、大幅な増収増益となりました。メディカル事業は引き続き、会員制総合メディカル倶楽部「グランドハイメディック倶楽部」の会員権販売が順調だったことや、会員の増加に伴う会費収入等の増加などによって、増収増益となりました。

当期を持ちまして中期経営計画「Connect 50 ローリングプラン」は予定より1年早く終了し、新計画へと移行することになりました。コロナ禍という厳しい事業環境の中ではありませんでしたが、グループ全体で「会員制らしさ」の追求に取り組み、グループ内の各事業をしっかりと「つなぐ(connect)」ことによって、十分に満足できる経営成績を達成できたと捉えております。

※不動産収益の繰延・開業時の実現影響のほか、会計上の要素などを控除し、期間収益の実力を示す当社独自の指標

サステナビリティ経営を推進し、 年率10%以上の利益成長を目指す。

—— 新たな中期経営計画についてご解説ください。

当社グループはこのほど、2023年4月から2028年3月の5年間で対象とした、新たな中期経営計画「Sustainable Connect」に

着手いたしました。当計画では、「サステナビリティ経営の推進」「生産性の向上」「収益性向上と安定的な事業ポートフォリオの実現」という3つの観点より基本戦略を策定し、さらなる事業拡大とともに、成長を支える経営基盤として、人財とDX（デジタル・トランスフォーメーション）の強化を推進します。数値指標としては10%以上12%の営業利益率や年率10%以上の利益成長率などを設定し、当面の目標として、3年後の2026年3月期に売上高2,300億円、営業利益230億円の達成を掲げています。

会員権事業では、2024年度以降の新規の会員制リゾートホテルとして、現時点では関東、中部、関西にそれぞれ複数の立地で開発案件を検討しております。高い人気を誇る「サンクチュアリコート」シリーズは、概ね1年間に1施設のペースで開発していく計画です。並行して、次の5年間の中では、既存物件のリニューアルなどの検討にも着手してまいります。会員制検診クラブ「ハイメディック」に関しては、3か所の開業を予定しております。

シニアライフ事業では、介護が不要な方から終末期ケアが必要な方まで、お客様のライフステージに応じたサービス提供や移り住みができる仕組みを構築します。この一環として、5月に「トラストガーデン桜新町」内に訪問看護ステーションを開設し、7月からホスピスケアサービスの提供を開始します。同施設内には6室を設置し、今後他の施設にも展開していく予定です。さらに、健常者向けのレジデンス物件についても、当社グループの強みに特化した新商品を開発し、会員権のように追加購入いただけるような仕組みを検討中です。

このほか全社的な取り組みとして、DXを駆使した個々のサービスのテラーメイド化や、会員同士のネットワークや他社とのアライアンスも活用した会員制プラットフォームの拡充なども推進します。新たながん治療法であるBNCT（ホウ素中性子捕捉療法）事業、海外富裕層の取り込みなどにも、精力的に取り組んでまいります。

TOP INTERVIEW

トップインタビュー

2024年3月期は過去最高水準の業績で、50周年記念配当も予定。

—— 次期の事業計画と業績見通しについてお聞かせください。

今後も厳しい事業環境が続くことが予想されますが、当社グループは「Sustainable Connect」の初年度として、計画に掲げた諸施策に着実に取り組むことで、引き続き成長を実現してまいり所存です。次期の業績につきましては、2024年3月に「サンクチュアリコート」シリーズの第1弾である「サンクチュアリコート高山」が開業し、これまで繰延べられていた不動産収益が一括計上されること、また、各事業における運営収益も拡大することなどから、売上高、営業利益及び経常利益は大幅な増加を見込んでおり、売上高は過去最高となる見通しです。一方でホテル売却に伴う特別利益が無くなることなどから、親会社株主に帰属する当期純利益は減益予想となっております。

—— 株主の皆様へのメッセージをお願いします。

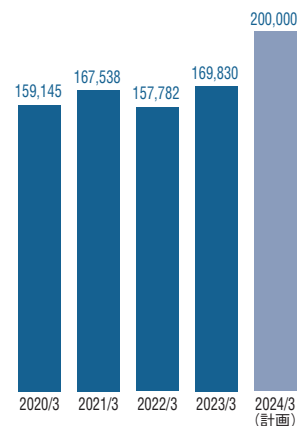
おかげさまで当社グループは本年4月に、創立50周年を迎えることができました。これもひとえに株主の皆様をはじめ、ステークホルダーの皆様のご支援の賜物と心より感謝申し上げます。次期の配当計画につきましては、年間配当金46円に「創立50周年」記念配当金4円を加え、過去最高の年間50円とさせていただきます。当期に比べ5円の増配となります。

物価や人件費の高騰など、今後も予断を許さない経済情勢が続きますが、当社グループはコロナ禍を乗り越え、新たな成長ステージへと着実に歩を進めております。新計画「Sustainable Connect」の下、持続可能な社会の実現に貢献するとともに、企業価値のさらなる向上を目指してまいります。

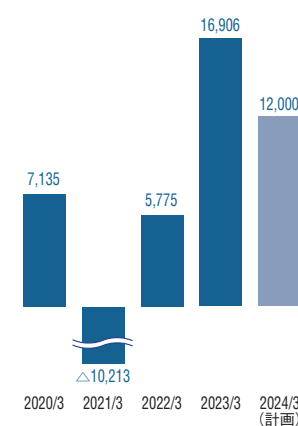
株主・投資家の皆様におかれましては、今後とも当社グループへのご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 COO 伏見 有貴

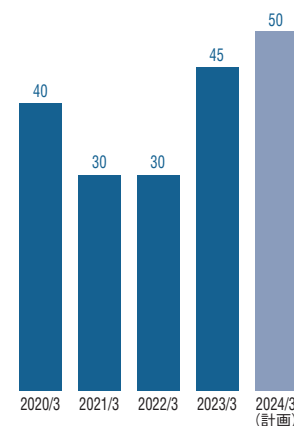
売上高(百万円)



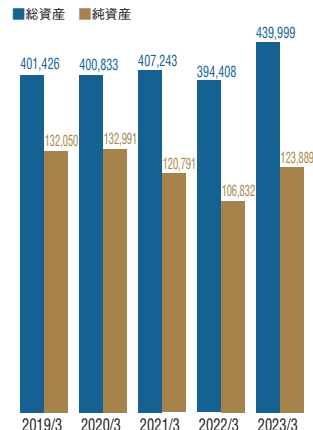
当期純利益(百万円)



1株当たり配当金(円)



総資産(百万円)／純資産(百万円)



※ 予測に関する数値は、2023年3月期決算発表時点の見通しに基づくものです。経済環境の変化などにより、実際の業績が予測と異なる可能性があります。

REVIEW OF OPERATIONS

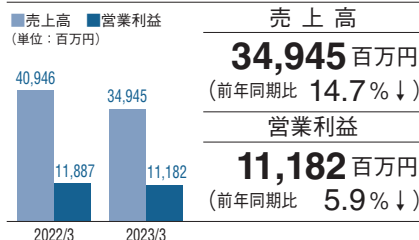
セグメント別概況

会員権事業

Membership Operations



東京、名古屋、大阪に近く利便性の高い、高級会員制リゾートホテルの開発と、それらの会員権販売などを行っております。



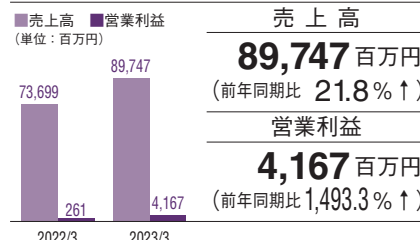
2022年3月から販売を開始した「サンクチュアリコート琵琶湖」の会員権販売が好調に推移したことに加え、2022年10月より「サンクチュアリコート日光」を販売開始し、開業するまでの間、繰延べられる不動産代金の売上高、原価が増加したこと、前年同期に比べ、利益率の高い既存会員権の販売量が減少したことなどのセールスマックスにより、減収減益となりました。

ホテルレストラン等事業

Hotel & Restaurant Operations



本物志向の設備、料理、サービスを核とするホテル・レストラン運営、会員制ゴルフ場の運営などを行っております。



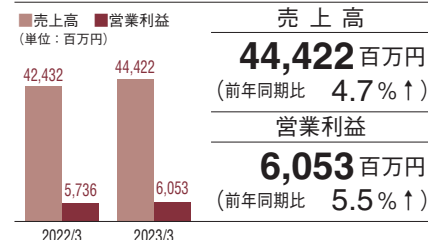
ホテルレストラン等事業におきましては、前年同期には、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急事態宣言が発出され、移動制限がありましたが、当期は経済活動再開に伴い、特に、リゾートホテルの需要はコロナ前を超えるほどまでに高まったことなどにより、一部ホテル売却の準備コストがかかったものの、増収増益となりました。

メディカル事業

Medical Operations



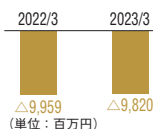
高品質な健康関連サービスを提供する総合メディカル事業及び有料老人ホーム等の運営を行っております。



メディカル事業におきましては、会員制総合メディカル倶楽部「グランドハイメディック倶楽部」の会員権販売が順調であったこと、また、会員の増加に伴う年会費収入等の増加などにより、増収増益となりました。

本社費 (全社費用)

Overhead expenses



対 営業利益
△**9,820** 百万円
(前年同期比 139 百万円 ↑)

新中期経営計画「Sustainable Connect」策定

基本戦略「サステナブル コネクト」

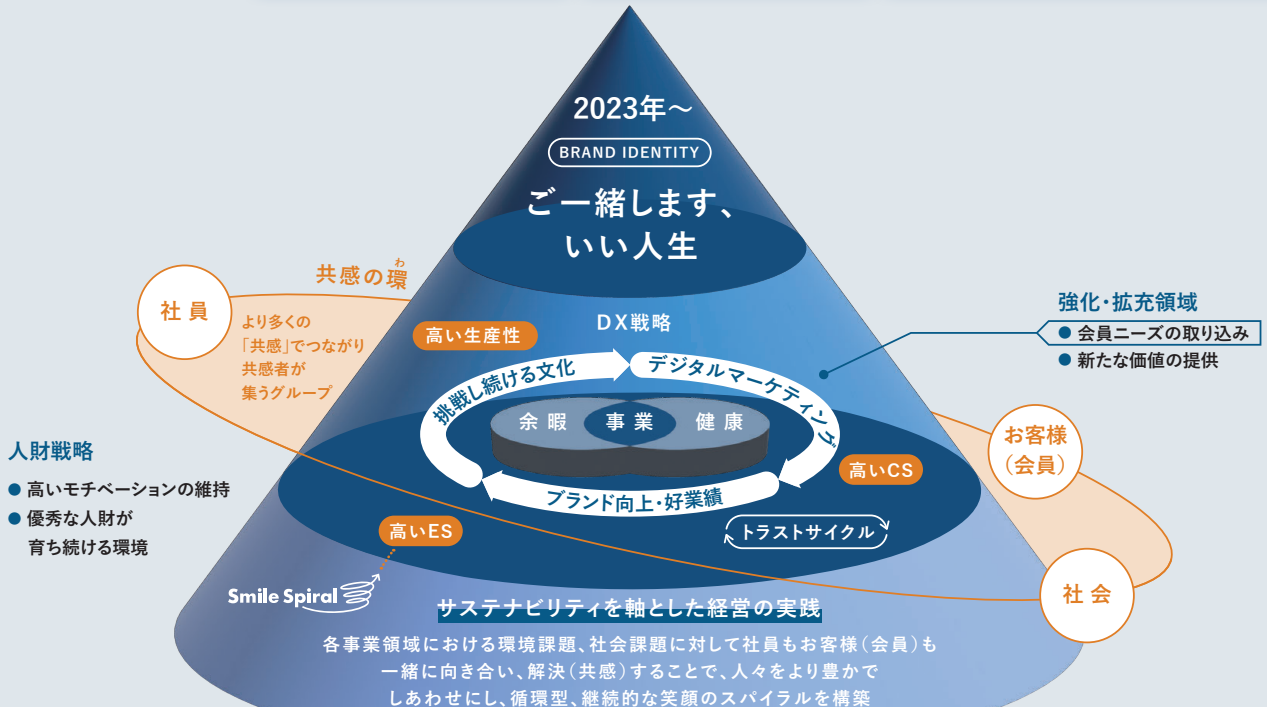
本中期経営計画では、お客様と共に、地域と共に、サステナブルな社会へ貢献することを基礎として、グループのアイデンティティである「ご一緒に、いい人生～より豊かでしあわせな時間を創造します～」の実践を通じた、「真のグループ経営」を目指してまいります。グループ経営の進化のために、グループ一体となってさらなる付加価値の創出や事業領域の拡大に挑み続けるとともに、経営基盤における質的な変革と生産性及び収益性の向上により、No.1のフィールドを拓き、各事業をより強くし、リゾートトラストグループらしい長期安定的な成長を実現してまいります。

3つの基本戦略

共感、協創を目指したサステナビリティ経営の推進（「ご一緒に、いい人生」の実践）

顧客志向の企業変革活動による生産性の向上（「笑顔」のスパイラル）

海外・国内富裕層及び関係顧客の拡大と新たな商品・サービス創出による収益性向上と安定的な事業ポートフォリオの実現（「挑戦」による「信頼」のスパイラル）



SPECIAL SECTION

特集

経営基盤の強化(人財戦略、DX戦略)

成長を支える経営基盤として、とりわけ重要度が増す「人財」と「DX」に対しては、これまで以上に注力します。人財戦略においては、中長期的な人員不足に備えた人財の確保などに注力し、DX戦略においては業務効率及び生産性向上を目指したデジタル投資を行うなど、さらなる経営基盤強化に向けて取り組んでまいります。

【新中期経営計画における重点取り組み】

人財戦略

1. 中長期的な人員不足に備えた人財の確保
2. 「働きがい」と「働きやすさ」の追求
3. ホテルや間接部門の「適正人員」の見える化
4. タレントマネジメントの実現

DX戦略

1. 「デジタル投資」、「ITリテラシー向上」による業務効率化及び生産性向上
2. データ分析の基盤強化と、その活用によるマーケティングの推進(データドリブン経営)
3. 社内外とのコミュニケーションツールの運用見直しや、環境づくりを含めた活性化
4. 継続的な業務の標準化・簡素化と、古いシステムの計画的刷新

業績目標(連結)

3年間の数値目標を設定。5年後は年平均で10%成長を企図。

■ 今後3年間の業績数値目標

(単位: 億円)	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
指標	前年実績	新中計初年度 期初計画	(参考) 2年目目標	3年目目標
売上高	1,698	2,000	2,150	2,300
営業利益	122	180	200	230
経常利益	132	180	200	230
当期純利益	169	120	130	150

■ 5ヵ年共通目標

全体指標	2023.4~2028.3
売上高営業利益率	10%以上
営業利益成長率	年平均10%以上※2024.3計画を起点
ROE	10%以上12%を目指す
還元方針	40%以上を目安に安定的に還元

新中期経営計画の詳細につきましては、以下のURLをご参照ください。
https://www.resorttrust.co.jp/ir/investors/plan/pdf/sustainable_connect.pdf



皆様のおかげで、リゾートトラストグループは 創立50周年を迎えることができました。

皆様への感謝の気持ちを込めて、
多彩なキャンペーンを開催しております。

「50周年特設ページ」ではリゾートトラストグループのフィロソフィーや歴史、
会員の皆様からの思い出エピソードもご紹介しています。

そのほか各ホテルで開催中のイベントや、
各商品・サービスの優待料金なども掲載しております。
詳細は特設ページをご覧ください。

特別
キャンペーン
実施中!



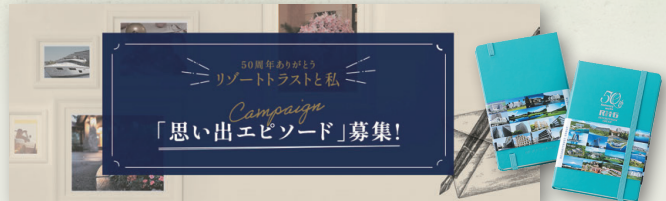
抽選でザ・カハラ ハワイへご招待!
<https://identity.rtg.jp/cpn-khlh/>



RTTGアプリのポイント獲得で、
毎日抽選で商品をプレゼント

※会員権のみ付け登録が必要となります。

<https://identity.rtg.jp/cpn-app365/>



創立50周年記念ノートブックを
先着1,500名様にプレゼント!

リゾートトラストグループと
会員様との思い出エピソード募集中

<https://identity.rtg.jp/memories/>

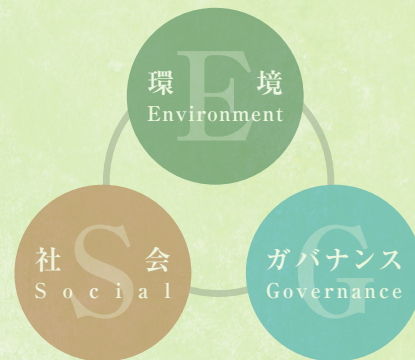
※6月30日(金)必着



リゾートトラストグループ
50周年特設ページ

<https://identity.rtg.jp>





サステナビリティ経営の推進 よりよい地球、社会、企業グループへの挑戦

「サステナビリティサイト」をリニューアル

リゾートトラストグループは、このたび企業サイトで公開中の「サステナビリティサイト」を、より使いやすく見やすいページ構成・デザインへと一新いたしました。また、オウンドメディア「サステナブル・ストーリー」を新たに開設し、リゾートトラストグループのESG(環境・社会・ガバナンス)の取り組みをタイムリーにご紹介しています。

<https://www.resorttrust.co.jp/sustainability/>



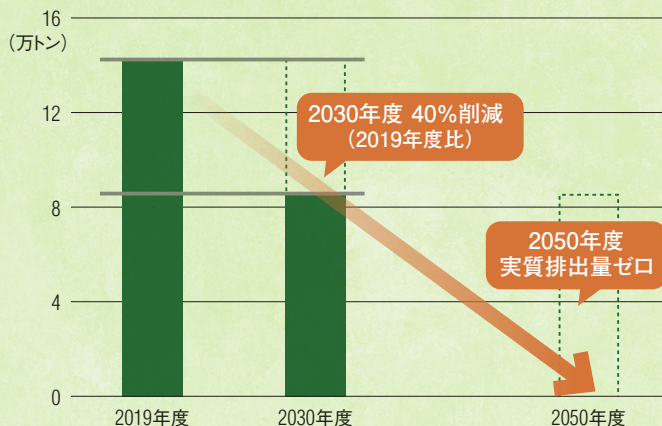
環境負荷の低減

リゾートトラストグループは、気候変動対応や環境資源の持続的利用など、自然環境と共に生きていくことを使命に企業活動を行っています。

脱炭素社会の実現に貢献する CO₂排出量削減中長期目標を策定

リゾートトラストグループは、2030年度にグループ内CO₂排出量を2019年度比40%削減し、2050年度までに実質ゼロとする中長期目標を策定しました。リゾートトラストグループは、「CO₂排出量の削減」を重要課題の一つに掲げており、既に国内すべてのリゾートホテル・ゴルフ場への太陽光発電設備の設置を決定し、2023年度内の実施を目指しています。今後は、再生可能エネルギーの利用比率の向上及び新たな蓄電技術、水素発電など次世代型エネルギーの活用検討を順次進めていきます。

リゾートトラストグループCO₂(Scope 1、2)排出量削減計画



(注) GHG プロトコルに基づく、当社連結会社の事業活動に直接関わるCO₂排出量であるScope1(自社によるCO₂の直接排出)、Scope2(他社から供給された電気・熱・蒸気の使用に伴う間接排出)が対象。

TOPICS

トピックス
サステナビリティ



スタッフの『いい人生』

リゾートトラストグループでは、スタッフ一人ひとりが輝くことができるような環境づくりに努めています。

次世代のリゾートトラストを担う スペシャリストの育成

リゾートトラストグループでは、持続的な成長を目指すため、「能力・キャリアの開発」を重要課題の一つに位置づけ、スタッフの育成に注力しています。現在、グループ内には、「カクテルコンクール(1995年より開催)」、「ソムリエコンクール(2006年より開催)」、「鉄板焼コンクール(2015年より開催)」をはじめとする各種社内コンクールがあります。腕を競い合うことを通じて、スタッフの技術力やサービス力の向上を図り、お客様に最高のホスピタリティを提供できるモチベーションの高いスペシャリストを育てる機会にもなっています。

今後も、スタッフ一人ひとりの成長を支援するとともに、誰もが能力を存分に発揮し生き生きと仕事ができる環境づくりに取り組んでまいります。



(上)
第4回鉄板焼コンクール 基礎技術部門
「ゴールド賞」受賞
奥田 有架

(下)
第26回カクテルコンクール 最優秀作品
「会長賞」カクテル
受賞者 八尾 彩恵子

働きたい・働き続けたい企業 全スタッフの「しあわせ」の追求

リゾートトラストは、スタッフの働きがいと生活の向上を重視しています。この度、リゾートトラストは定期昇給2%とベースアップ3%を実施し、合わせて5%の昇給を決定いたしました。この決定は、ユニオンの要求に対して満額回答するものであり、2018年以来5年ぶり、過去最高の上げ幅となりました。

今後もスタッフ一人ひとりの生活の向上を大切に、働き甲斐のある環境を整えることを目指していきます。

今後重点的に取り組む課題

- 「働きがい」と「働きやすさ」の追求
組織活性化や人材育成等による「成長実感」の機会、及び安定した人材の確保や継続就労支援等による「安心して働ける環境」の維持
- グループ各組織・部門の「適正人員」の見える化
「理想的な人員の量と質」を見える化し、最適な人的資本経営に向けた「人材の安定確保と育成」につなげる
- タレントマネジメントの実現
RTG人材データベース管理と有効活用で採用、配置を最適化

TOPICS

トピックス
サステナビリティ



地域活性化への貢献

リゾートトラストグループは、各事業所や各施設において地域社会への貢献活動を主体的に実行しています。

リゾートトラスト レディス2023 グランディ浜名湖ゴルフクラブで開催



リゾートトラストグループの創立50周年記念大会となるリゾートトラスト レディスが5月25日から28日の4日間、静岡の「グランディ浜名湖ゴルフクラブ」にて開催されました。本コースは「グランドエキシブ浜名湖ホテル&スパリゾート」の広大な敷地内に広がります。戦略性に富んだチャンピオンシップコースを舞台に、記念大会にふさわしい熱戦が繰り広げられ、観客の記憶に残る大会となりました。



優勝した山下美夢有選手

グリーンキャンペーンとして寄付を実施

リゾートトラスト レディスでは、1995年の第3回大会より、開催地域の緑化推進を目的とした「グリーンキャンペーン」を継続して実施してきました。今大会においては、「公益財団法人静岡県グリーンバンク」に100万円を寄付しました。



左から代表取締役社長 伏見 有貴/
静岡県グリーンバンク 理事長 鈴木 一雄 様

企業版ふるさと納税を活用し 高山市へ寄付を実施

リゾートトラストは、高山市「飛騨民俗村再整備事業」への支援として、昨年度に引き続き12月15日に5,000万円の寄付を行い、田中明高山市長から感謝状が授与されるとともに、紺綬褒章を受章しました。寄付を通じて、文化財の改修や地域全体の活性化など、ホテルと地域の共存共栄を目指します。飛騨民俗村の近隣には「サンクチュアリコート高山 アートギャラリーリゾート」の開業を予定しています(2024年3月)。



右から代表取締役ファウンダー 伊藤與朗/代表取締役社長 伏見有貴 / 田中明高山市長 / 常務取締役 花田慎一郎

地産地消で地元三重県の山海の素材を活用 リゾートトラスト初のビストロレストラン 「BISTRO VAGUE」が「エキシブ鳥羽」にオープン

「エキシブ鳥羽」に、2022年11月にオープンした「BISTRO VAGUE(ビストロヴァーグ)」は、ご家族やご友人とカジュアルな雰囲気でお楽しみいただけるビストロレストランです。地元三重県を代表する伊勢海老や鮑、松阪牛などのブランド食材をいかし、多彩な料理を提供します。

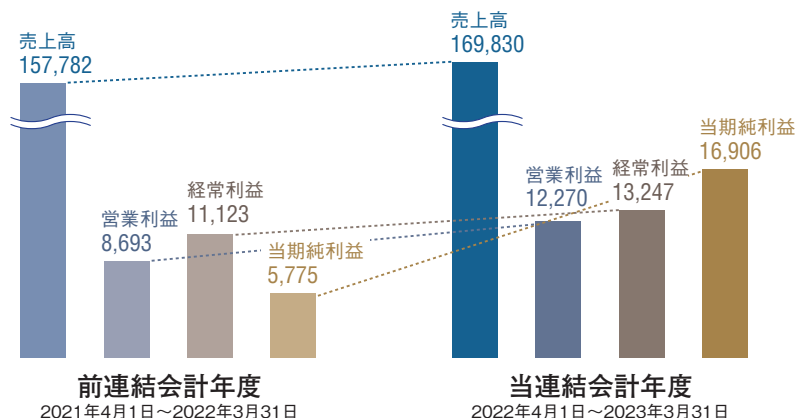


CONSOLIDATED FINANCIAL STATEMENTS

連結財務諸表

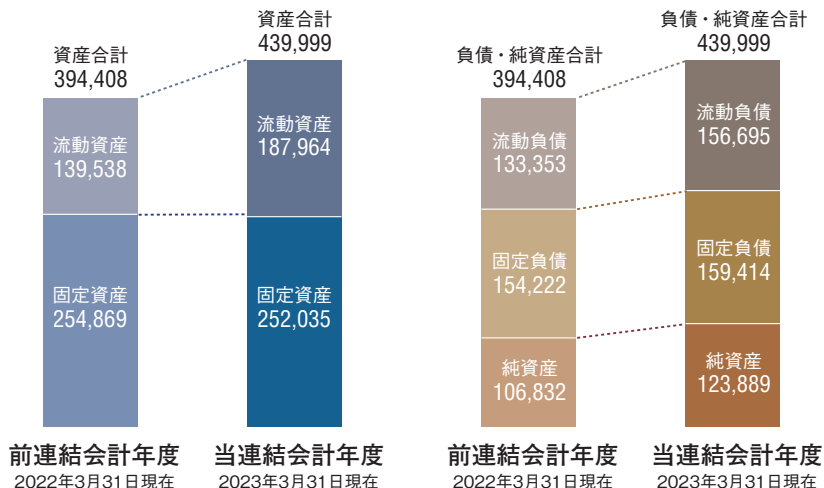
収益の状況

単位：百万円



財務の状況

単位：百万円



連結決算の概要

損益 | 前年同期には、緊急事態宣言が発出されておりましたが、当期は行動制限が無い中で、会員権事業においては、2022年3月に販売を開始した「サンクチュアリコート琵琶湖」、2022年10月に販売を開始した「サンクチュアリコート日光」のホテル会員権の販売が好調であったことに加え、ホテルレストラン等事業において、コロナ前よりもリゾート宿泊需要が大きく、ホテルの稼働率が急回復しました。また、メディカル事業においても、引き続き、健康志向の高まりを受けて、メディカル会員権の販売が好調であり、会員数の増加に伴う会費収入の積み上がり等が収益へ貢献したことなどにより、売上高は169,830百万円(前年同期比7.6%増)、営業利益は12,270百万円(前年同期比41.2%増)、経常利益は13,247百万円(前年同期比19.1%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は16,906百万円(前年同期比192.7%増)となりました。

資産 | 流動資産は、前連結会計年度に比べて34.7%増加し、187,964百万円となりました。これは、主に割賦売掛金が28,430百万円、有価証券が7,215百万円、仕掛販売用不動産が19,435百万円、それぞれ増加した一方で、営業貸付金が11,958百万円、販売用不動産が981百万円、それぞれ減少したことなどによるものであります。固定資産は、前連結会計年度に比べて1.1%減少し、252,035百万円となりました。これは、主に有形固定資産が233百万円、差入保証金が1,684百万円、それぞれ増加した一方で、無形固定資産が1,421百万円、投資有価証券が3,232百万円、それぞれ減少したことなどによるものであります。

負債 | 流動負債は、前連結会計年度に比べて17.5%増加し、156,695百万円となりました。これは、主に建設中のホテル会員権の販売進捗により前受金が31,674百万円増加したことなどによるものであります。固定負債は、前連結会計年度に比べて3.4%増加し、159,414百万円となりました。これは、主に長期借入金が11,300百万円減少した一方で、長期リース債務が9,579百万円、償却型預り保証金が6,809百万円、それぞれ増加したことなどによるものであります。

純資産 | 純資産合計は、前連結会計年度に比べて16.0%増加し、123,889百万円となりました。これは、主に利益剰余金が13,141百万円増加したことなどによるものであります。

CONSOLIDATED FINANCIAL STATEMENTS

連結財務諸表

キャッシュ・フローの状況

単位：百万円

	前連結会計年度 2021年4月1日から 2022年3月31日まで	当連結会計年度 2022年4月1日から 2023年3月31日まで	前期比 増減額
営業活動による キャッシュ・フロー	22,662	24,285	1,622
投資活動による キャッシュ・フロー	2,736	6,314	3,577
財務活動による キャッシュ・フロー	△49,026	△30,995	18,030
現金及び現金同等物に 係る換算差額	80	112	31
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	△23,546	△283	23,262
現金及び現金同等物の 期首残高	52,756	29,210	△23,546
現金及び現金同等物の 期末残高	29,210	28,926	△283

連結決算の概要

営業活動によるキャッシュ・フロー

当連結会計年度における営業活動による資金は、前連結会計年度と比べ、税金等調整前当期純利益の増加などにより24,285百万円の増加（前連結会計年度比1,622百万円の増加）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フロー

当連結会計年度における投資活動による資金は、前連結会計年度と比べ、有価証券の取得による支出の増加や、有形固定資産の取得による支出の増加の一方で、有形固定資産の売却による収入の増加などにより6,314百万円の増加（前連結会計年度比3,577百万円の増加）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フロー

当連結会計年度における財務活動による資金は、前連結会計年度と比べ、社債の償還による支出の減少などにより30,995百万円の減少（前連結会計年度比18,030百万円の増加）となりました。

IR TOPICS

2024年3月期配当予想に関するお知らせ(創立50周年記念配当)

記念配当の理由

当社は、2023年4月2日に創立50周年を迎えました。事業を発展し続けられたのも、ひとえに株主の皆様をはじめ、関係各位のご支援の賜物と心より感謝申し上げます。

つきましては、株主の皆様のご理解とご支援に対する感謝の意を表するため、第51期となる2024年3月期の配当について、1株当たり年間4円(中間配当金2円、期末配当金2円)の創立50周年記念配当を実施することといたしました。

2024年3月期の年間配当予想

2024年3月期の配当金につきましては、中間配当は普通配当23円に記念配当2円を加えた25円、期末配当は普通配当23円に記念配当2円を加えた25円となり、年間配当は1株当たり50円となる予定です。

	1株当たり配当金(円)		
	第2四半期末	期末	合計
2024年3月期 (予想)	25円00銭 (普通配当23円00銭) (記念配当2円00銭)	25円00銭 (普通配当23円00銭) (記念配当2円00銭)	50円00銭 (普通配当46円00銭) (記念配当4円00銭)
2023年3月期 (実績)	20円00銭 (普通配当20円00銭)	25円00銭 (普通配当25円00銭)	45円00銭 (普通配当45円00銭)

各種情報のご案内

各種情報に関しましては、以下のURLをご覧ください。

会社概要

<https://www.resorttrust.co.jp/corporate/about/outline/>

会社概要

会社名 リゾートトラスト株式会社

本社 東京都港区赤坂2-18-31
Tel (03) 933-6000 (大代)
東京本社 東京都港区赤坂2-18-31
Tel (03) 6731-0001 (大代)
※本社の部門は都庁によりビルが異なります。詳しくはコチラへ。

代表者 代表取締役フアンダー 伊藤 幹雄 グループCEO (グループ最高経営責任者)
代表取締役会長 伊藤 雄策 CEO (最高経営責任者)
代表取締役社長 伏見 秀典 COO (最高執行責任者)

創業 1973年4月

資本金 199億900万円 (2023年3月末)

従業員数 7,943名 (2023年3月末 連結)

本社3カ所、支店44所
リゾートホテル・シティホテル等 国内40カ所、ハワイ1カ所
ゴルフ場13カ所

グループ会社一覧

<https://www.resorttrust.co.jp/corporate/about/group/>

グループ会社

ホテル事業関連

RESORTTRUST HAWAII, LLC

ホテルの経営
代表者: 野野 重利
リゾートトラストの運営する建物 (エクスパン・サンメンバーズなど) および付帯施設の総合
清掃・設備管理

(株) シェス

代表者: 野野 重利
TEL: 052-310-0794
URL: <http://rtsg-jms.jp/>

ヘアクセガサリ等々の製造・販売

(株) コンプレックス・
ビジネスセンターアソシエツ

代表者: 野野 重利
TEL: 052-310-2450
URL: <http://www.complexbiz.com/>

損害保険代理店

(株) サンホテルエージェンツ

代表者: 平松 栄治
TEL: 052-310-0798

役員一覧

https://www.resorttrust.co.jp/corporate/about/board_member/

役員一覧

役名	名前	職名(担当)
代表取締役フアンダー	伊藤 幹雄	グループCEO(グループ最高経営責任者)
代表取締役会長	伊藤 雄策	CEO(最高経営責任者)
代表取締役社長	伏見 秀典	COO(最高執行責任者)
取締役副社長	井内 勇之	総務部門 経営 兼 COO(コンプライアンス推進責任者)

株式の状況・株式分布状況・株主メモ

<https://www.resorttrust.co.jp/ir/stock/information/index.html>

株式情報

株式基本情報

2022年3月31日現在

項目	内容
証券コード	4681
配当方針・配当金種別	サベジス策
株主優待	100株以上
株主優待情報	決議期 3月31日
株主優待情報FAQ	会社が発行する株式の総数 150,000,000株 株主数 43,802名

株主優待

<https://www.resorttrust.co.jp/ir/stock/benefit/>

株式優待情報

基本給付品別選定

長期保有株主向け優待制度 (2016.3月末より導入)

100株以上の株主様に対し『株主優待電子チケット(2022.3月末の株主様より)』を発行いたします
※電子チケットは、「RTGアプリ」にて発行予定
※内容詳細は、2022年6月28日に株主様へ株式計算書類とともに郵送いたします。
※ご不明な点については、FAQをご確認ください

株主優待電子化の注意点

当社は2022年度より、株主優待電子チケットの運用を開始いたしました。株主様には電子チケットの取得に必要な個別のQRコードを付した用紙を、株式関係書類と共にお送りしています。2023年度は第50回定時株主総会(6月29日開催)後、一斉に郵送いたします。

2022年度にお送りした株主優待用QRコード記載の用紙につきましては、誤って処分あるいは紛失してしまったとのお問い合わせを多くいただいております。当社より株主様へ発送させていただいた書類については内容をよくご確認ください、誤って優待利用に必要な書類等を処分されることのないようご注意ください。(原則として再発行はいたしません。)

また、個別QRコードを付した用紙は株主様の個人情報も記載されていること等から、複製・売買につきましては禁止としており、その旨を明記しております。本券に記載の禁止事項に抵触すると判断される場合には、優待をご利用になれません。

個人情報の不正利用や偽造品の被害防止のためにも、二次流通のご利用等はお控えくださいますようお願い申し上げます。当社株主優待券の売買により株主様が不利益を被った場合、如何なる理由においても当社は一切の責任を負いかねます。

※QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です。